

2016年 9 月25日 実施

平成28年度（第55回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 試験問題

…………… 注 意 事 項 ……………

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 利用者からの要求をより明確に反映させるために、開発の早い段階で試作品を利用させ、その評価を反映させる開発手法。

ア. プロトタイプモデル イ. スパイラルモデル ウ. ウォータフォールモデル

2. 高速通信回線や安定した電源の供給、災害対策等が施された場所を提供し、顧客のサーバを預かるサービス。

ア. アライアンス イ. ハウジングサービス ウ. ホスティングサービス

3. データベースにおいて、他のトランザクションからデータの参照は可能だが、更新や削除は禁止するロック。

ア. デッドロック イ. 占有ロック ウ. 共有ロック

4. 解像度3,000×2,250ピクセル、1ピクセルあたり24ビットの色情報で圧縮率50%のデジタルカメラで1日1,000枚の画像を3日間撮影する予定のとき、3日分の容量として少なくとも何GBの記憶容量が必要か求めなさい。ただし、1GB=10⁹Bとする。

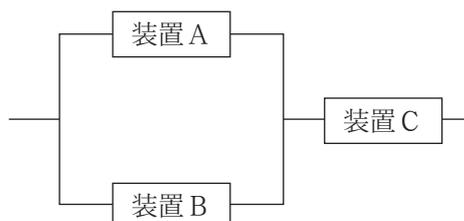
ア. 16GB イ. 32GB ウ. 64GB

5. 次の表に示す、装置Aと装置Bを並列に配置したシステムに、稼働率が0.95の装置Cを図のように直列に配置する場合、システム全体の稼働率を小数第3位まで求めなさい。

表

	MTBF	MTTR
装置A	800時間	200時間
装置B	450時間	50時間

図



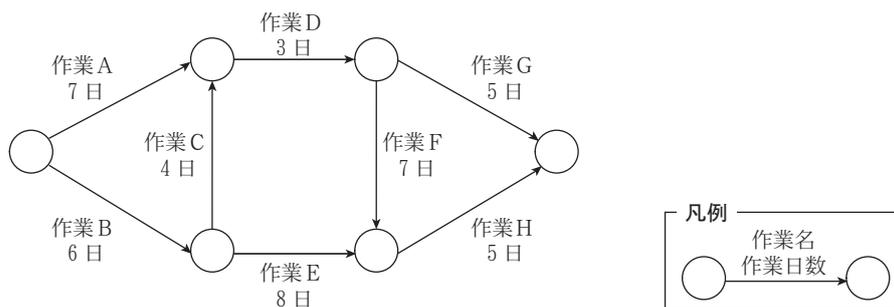
【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 営業部に所属するAさんには、社内システムに対し、次のようにアクセス権の設定がされている。Aさんが行えることとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

アクセス権	許可・不許可
フルコントロール	不許可
書き込み	不許可
読み取り	許可

- ア. 他社との契約を結ぶことができたので、社内システムにデータを入力し更新した。
 イ. 顧客から注文のキャンセルの連絡があったので、社内システムから該当のデータを削除した。
 ウ. 顧客から過去の受注に対し問い合わせがあったので、社内システムのデータを参照した。

問2. 次の図は、あるプロジェクトにおけるアローダイアグラムである。このプロジェクトの開始にあたり、作業Eが機器の故障により作業に遅れが出ることが確実となった。このプロジェクトの完成期日に影響を及ぼさないためには作業Eは8日に加えてあと何日の遅れまで許されるか、日数を答えなさい。



問3. 次のコンピュータAおよびB～Dのネットワーク設定から、ネットワークアドレスがコンピュータAと同じになる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、コンピュータA～Dのサブネットマスクは、255.255.255.0で設定されている。

コンピュータAのネットワーク設定

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータA	192.168.3.225

コンピュータB～Dのネットワーク設定

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータB	10.58.4.225
コンピュータC	192.168.3.226
コンピュータD	192.168.4.226

ア. コンピュータB

イ. コンピュータC

ウ. コンピュータD

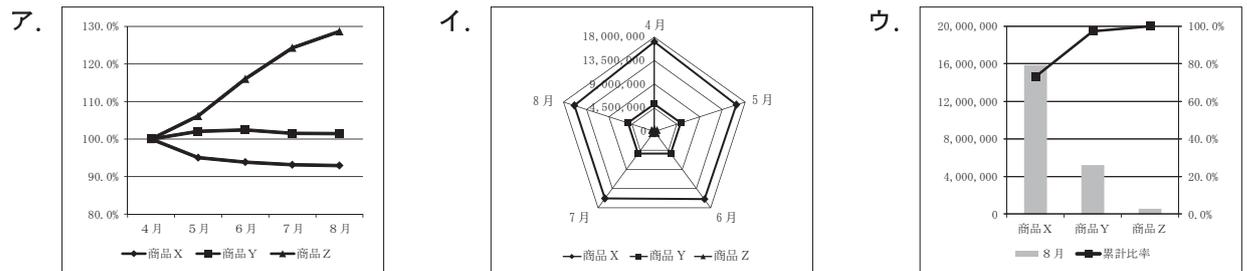
問4. 次の商品の売上金額の記録から、各商品の成長度合いを比較したい。分析手法と作成するグラフとして適切なものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

商品名	4月	5月	6月	7月	8月
商品X	17,075,000	16,230,000	16,027,000	15,904,000	15,870,000
商品Y	5,157,000	5,262,000	5,283,000	5,235,000	5,232,000
商品Z	457,000	485,000	530,000	568,000	588,000

分析手法

- ア. 各商品の売上金額に差があるので、レーダーチャートを作成し、月ごとの値による比較で行う。
- イ. 各商品の売上金額に差があるので、各月で売上構成比を求め、パレート図を作成し、ABC分析を行う。
- ウ. 各商品の売上金額に差があるので、4月を基準に4月～8月を指数化し、折れ線グラフを作成して、その推移の分析を行う。

グラフ



問5. DBMSの機能について説明している次の文章の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

コンサートや交通機関の座席予約システムなど、DBMSでは完全なデータ保持と応答の即時性が求められる。ハードディスクに保存されているデータを直接更新しては、応答の即時性が損なわれるため、データをハードディスクからメモリに読み込み、通常はメモリ上のデータを更新している。ハードディスクのデータは、メモリ上のデータ更新が一定量たまるか、または一定時間経過するごとにメモリ上のデータと同期される。この更新されたメモリ上のデータをハードディスクに同期させる時点を という。

ア. コミット

イ. チェックポイント

ウ. エンティティ

【5】 ある自治体では地域活性化のためさまざまな講座を実施し、各講座の予算執行状況を次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 年度の初めに係りの者が、予算表に各講座の予算額を入力する。
- ② 各講座から提出された講座予算執行請求書をもとに、執行額が年度内の予算残高以内であれば、執行できる。
- ③ 予算執行が可能な場合、係りの者が執行表にレコードを追加する。

講座予算執行請求書			
執行番号	2016047		
日付	2016/9/19		
講座コード	BN01	講座名	俳句短歌講座
費目コード	H04	費目	運搬費
執行額	11,290		

講座表

講座コード	講座名	定員
SP01	野球講座	50
SP02	サッカー講座	60
}	}	}
BN01	俳句短歌講座	25
BN02	書道講座	20
}	}	}
SM04	華道講座	15
}	}	}
BR01	河川清掃	60
}	}	}

予算表

年度	講座コード	予算額
}	}	}
2016	SP02	200000
2016	SP03	120000
2016	SP04	120000
}	}	}
2016	BR02	10000
2016	BR03	12000
}	}	}

執行表

執行番号	日付	講座コード	費目コード	執行額
}	}	}	}	}
2016001	2016/04/20	SP03	H01	4500
2016002	2016/04/21	BR01	H05	3820
}	}	}	}	}
2016045	2016/09/18	SP08	H03	7630
2016046	2016/09/18	SP03	H01	5000
2016047	2016/09/19	BN01	H04	11290
}	}	}	}	}

費目表

費目コード	費目
H01	大会参加費
H02	会議費
H03	物品購入費
H04	運搬費
H05	雑費

問1. 各表とその関係性を明らかにするE-R図を作成した。データベースにおけるこの設計段階として適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. 概念設計

イ. 論理設計

ウ. 物理設計

問2. 2016年4月1日から2016年6月30日までに予算を執行した運動分野の平均執行額を抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。なお、運動分野の講座コードは、左端から2文字がSPである。

```
SELECT AVG(執行額) AS 運動分野平均執行額
FROM 執行表
WHERE 日付 BETWEEN '2016/04/01' AND '2016/06/30'
AND 講座コード [ ] 'SP%'
```

運動分野平均執行額
5565

問3. 2016年度における俳句短歌講座の、本日(2016年9月25日)時点までの講座名と残高を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 講座名, [ ] AS 残高
FROM 講座表 A, 予算表 B, 執行表 C
WHERE A.講座コード = B.講座コード
AND A.講座コード = C.講座コード
AND A.講座コード = 'BN01'
AND 年度 = 2016
AND 日付 >= '2016/04/01'
GROUP BY 講座名, 予算額
```

講座名	残高
俳句短歌講座	13280

ア. 予算額 - 執行額

イ. 予算額 - COUNT(執行額)

ウ. 予算額 - SUM(執行額)

問4. 2016年4月1日から2016年8月31日までに予算を執行した講座名を重複なく抽出する。次の二つのSQL文が同等の結果が得られるように、空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT DISTINCT A.講座コード, 講座名
FROM 講座表 A, 執行表 B
WHERE A.講座コード = B.講座コード
AND 日付 BETWEEN '2016/04/01' AND '2016/08/31'
```

講座コード	講座名
BN01	俳句短歌講座
BN02	書道講座
}	}
SP07	卓球講座
SP08	ハイキング講座

```
SELECT 講座コード, 講座名
FROM 講座表 A
WHERE [ ] (SELECT * FROM 執行表 B WHERE A.講座コード = B.講座コード
AND 日付 BETWEEN '2016/04/01' AND '2016/08/31')
```

ア. NOT EXISTS

イ. EXISTS

ウ. NOT IN

エ. IN

問5. 次のような講座予算執行請求書が提出され、執行額が予算残高以内であった場合、実行するSQL文として適切なものを選び、記号で答えなさい。

講座予算執行請求書			
執行番号	2016051		
日付	2016/9/19		
講座コード	SM04	講座名	華道講座
費目コード	H02	費目	会議費
執行額	3,820		

ア. INSERT INTO 執行表 VALUES

(2016051, '2016/09/19', 'SM04', '華道講座', 'H02', '会議費', 3820)

イ. INSERT INTO 執行表 VALUES

(2016051, '2016/09/19', 'SM04', 'H02', 3820)

ウ. DELETE FROM 執行表 WHERE 講座コード = 'SM04'

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある研究所の実験結果一覧表である。「結果」は、「基準値」と「測定値」の差がプラスマイナス3以内の場合、合格を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。D4に設定する次の式の空欄をうめなさい。

=IF(□□□□(B4-C4)<=3, "合格", "")

	A	B	C	D
1				
2	実験結果一覧表			
3	班番号	基準値	測定値	結果
4	1	994	1,002	
5	2	994	991	合格
6	3	993	1,009	
7	4	995	1,004	
8	5	1,008	1,007	合格
9	6	997	1,006	
10	7	1,002	1,002	合格
11	8	1,008	1,010	合格
12	9	1,008	1,001	
13	10	1,001	1,008	
14	11	992	996	
15	12	1,002	997	

問2. 次の表は、ある工場の製品入出庫管理表である。G4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1										
2	製品入出庫管理表					工場別入出庫一覧表				
3	日付	工場名	区分	数量	工場名	月初在庫	入庫	出庫		
4	8月1日	第一	月初在庫	107	第一	107	56	63		
5	8月1日	第二	月初在庫	99	第二	99	69	115		
6	8月2日	第一	入庫	9	合計	206	125	178		
7	8月2日	第一	入庫	6						
8	8月2日	第二	入庫	1						
9	8月2日	第二	出庫	9						
10	8月3日	第二	入庫	6						
11	}	}	}	}						
42	8月26日	第一	入庫	2						
43	8月26日	第二	出庫	8						
44	8月29日	第一	出庫	9						
45	8月29日	第二	出庫	11						
46	8月29日	第二	出庫	2						

ア. =SUMIFS(\$B\$4:\$B\$46, \$D\$4:\$D\$46, G\$3, \$C\$4:\$C\$46, \$F4)

イ. =SUMIFS(\$C\$4:\$C\$46, \$B\$4:\$B\$46, \$F4, \$D\$4:\$D\$46, G\$3)

ウ. =SUMIFS(\$D\$4:\$D\$46, \$B\$4:\$B\$46, \$F4, \$C\$4:\$C\$46, G\$3)

問3. 次の表は、ある会社の新規顧客一覧表である。「フリガナ」を、「置換後フリガナ」のように変換して表示する。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C
1			
2	新規顧客一覧表		
3	会社名	フリガナ	置換後フリガナ
4	函館産業(株)	ハコダテサンギョウ(カブ)	ハコダテサンギョウ
5	(株)木古内林業	カブ)キコナイリンギョウ	キコナイリンギョウ
6	大沼土木	オオヌマドボク	オオヌマドボク
7	(株)五稜郭商事	カブ)ゴリョウカクショウジ	ゴリョウカクショウジ
8	新北斗水産(株)	シンホクトスイサン(カブ)	シンホクトスイサン
9	(株)南の大地商事	カブ)ミナミノダイチショウジ	ミナミノダイチショウジ
10	陸高物産(株)	リクタカブッサン(カブ)	リクタカブッサン
11	(株)湯ノ川工事設備	カブ)ユノカワコウジセツビ	ユノカワコウジセツビ

ア. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4, "(カブ)", ""), "カブ"), "")

イ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(A4, "(株)", ""), "", "(株)")

ウ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4, "", "(カブ)", ""), "カブ")

問4. 次の表は、ある都市のガソリン価格市場調査表である。
B26は、次の式が設定されている。B26に表示される数値を答えなさい。

=MODE(B4:B23)

	A	B	C	D
1				
2	ガソリン価格市場調査表			
3	店コード	レギュラー	ハイオク	軽油
4	13001	109	114	90
5	13002	111	114	95
6	13003	107	120	95
7	13004	107	112	94
8	13005	108	114	95
9	13006	111	116	93
10	13007	107	119	95
11	13008	109	121	95
12	13009	108	120	93
13	13010	109	112	92
14	13011	107	114	95
15	13012	106	114	91
16	13013	109	114	94
17	13014	111	115	89
18	13015	108	111	92
19	13016	108	111	90
20	13017	107	121	91
21	13018	107	121	91
22	13019	107	111	95
23	13020	109	114	95
24				
25	平均値	108.25	115.40	93.00
26	最頻値	※	※	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問5. 次の表は、ある食材配送会社のシミュレーション表である。次の条件から「総費用計」が最小となる各配送所の輸送数を求めたい。表計算ソフトウェアのデータ分析機能に設定する制約条件として空欄(a)にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

条件

- E13には次の式を入力し、E14までコピーする。
=SUM(B13:D13)
- B15には次の式を入力し、D15までコピーする。
=SUM(B13:B14)
- B19には次の式を入力し、D20までコピーする。
=B8*B13
- E19には次の式を入力し、E20までコピーする。
=SUM(B19:D19)
- E21には次の式を入力する。
=SUM(E19:E20)
- 「振分数計」は、各食堂の「注文数」と一致する。
- 各配送所の「輸送数計」は「輸送上限」を超えない。

- ア. $BS13:DS13 = BS14:DS14$
 $ES13:ES14 \leq FS13:FS14$
- イ. $BS15:DS15 = BS4:DS4$
 $ES13:ES14 \leq FS13:FS14$
- ウ. $BS13:DS13 = BS14:DS14$
 $ES13:ES14 \geq FS13:FS14$

	A	B	C	D	E	F
1						
2	注文数表			単位：個		
3		食堂A	食堂B	食堂C		
4	注文数	60	80	120		
5						
6	食材1単位あたりの輸送費用			単位：円		
7		食堂A	食堂B	食堂C		
8	北配送所	50	30	50		
9	南配送所	30	70	40		
10						
11	注文振分シミュレーション表				単位：個	
12		食堂A	食堂B	食堂C	輸送数計	輸送上限
13	北配送所				0	120
14	南配送所				0	140
15	振分数計	0	0	0		
16						
17	輸送費用表			単位：円		
18		食堂A	食堂B	食堂C	費用計	
19	北配送所	0	0	0	0	
20	南配送所	0	0	0	0	
21				総費用計	0	

パラメータ設定

目的セル:

目標値: 最大値 最小値 値

変化させるセル

制約条件

【7】 次の表は、首都圏にある遊園地への旅行代金の計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「計算書」

	A	B	C	D	E	F	G	
1	計 算 書							
2								
3							申込日	2016/9/25
4								
5	1. 基本情報	入力欄			確認欄			
6	出発日	2016/11/12			OK			
7	申込人数	大人	2	名	割引き	早割45		
8		学生	0	名				
9		子ども	1	名				
10								
11	2. 交通機関条件							
12	交通コード	FUK-T			OK			
13					出発地	福岡		
14					交通機関	電車		
15					大人一人あたりの料金	41,000		
16								
17	3. 宿泊先条件							
18	宿泊コード	H002-TRN			OK			
19	宿泊日数	1			泊	ホテル名	ホテルR	
20	部屋数	1			室	部屋タイプ	トリプル食無	
21					一泊一室あたりの料金	36,000		
22								
23	4. 遊園地条件							
24	チケットコード	TE			チケット			10回券
25								
26	5. 旅行代金							
27	交通費	102,500						
28	宿泊費	36,000						
29	遊園地料金	12,900						
30	割引料金	6,500						
31	合計	144,900						

シート名「交通費表」

	A	B	C	D	E
1	交通費表				
2					
3	出発地	交通機関コード	A	T	B
4	コード	出発地/交通機関	飛行機	電車	バス
5	SAP	札幌	36,000	50,000	
6	SEN	仙台		24,000	8,600
7	OSA	大阪	24,000	28,000	11,000
8	FUK	福岡	39,000	41,000	26,000
9	NAH	那覇	44,000		

シート名「宿泊費表」

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	宿泊費表							
2								
3	ホテルコード	部屋コード	TWN	TRN	FON	TWB	TRB	FOB
4		部屋タイプ	ツイン食無	トリプル食無	フォース食無	ツイン食有	トリプル食有	フォース食有
5		ホテル名/定員	2	3	4	2	3	4
6	H001	ホテルC	38,000	54,000		42,000	60,000	
7	H002	ホテルR	28,000	36,000	52,000	31,200	40,800	58,400
8	H003	ホテルI	24,000		40,000	26,400		44,800
9	H004	Tホテル	16,000			17,600		

シート名「遊園地料金表」

	A	B	C	D	E
1	遊園地料金表				
2					
3	チケットコード	チケット	大人	学生	子ども
4	TE	10回券	5,100	3,900	2,700
5	ON	1日自由券	7,400	6,400	4,800
6	TW	2日自由券	13,200	11,600	8,600
7	TH	3日自由券	17,800	15,500	11,500
8	FO	4日自由券	22,400	19,400	14,400

作成条件

1. シート名「計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、旅行代金を求めることができる。
2. 入力欄が未入力の場合は、確認欄に何も表示せず、入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合は、確認欄に NG を表示する。また、確認欄が空欄または NG の場合は、その次の入力項目以降の確認欄と、D27～D31に何も表示しない。
3. この旅行の出発日は月曜日以外である。
4. 交通費表は、大人および学生の一人あたりの料金である。また、子どもは、飛行機の場合は大人と同じ料金であり、電車およびバスの場合は大人の半額の料金である。
5. 宿泊費表は、一部屋あたりの料金であり、利用人数は定員以下である。
6. 交通コードと宿泊コードは、次のように構成されている。

**作成手順**

1. シート名「計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) G3は、「申込日」として表示するために、TODAY関数が設定されている。
 - (2) D6は、「出発日」を入力する。また、D7～D9は、「申込人数」を、それぞれ入力する。
 - (3) G6は、D6が月曜日以外であり、かつG3がD6の10日以上前である場合、OKを表示し、それ以外の場合、NGを表示する。
 - (4) G7は、G3がD6の90日以上前の場合、早割90を、45日～89日前の場合、早割45を、それ以外の場合、なしを表示する。
 - (5) D12は、「交通コード」を入力する。
 - (6) G12は、D12の左端から3文字と右端から1文字を抽出し、シート名「交通費表」を参照し、該当欄が空欄でない場合、OKを表示する。
 - (7) G13は、D12の左端から3文字を抽出し、シート名「交通費表」を参照し、「出発地」を表示する。
 - (8) G14は、D12の右端から1文字を抽出し、シート名「交通費表」を参照し、「交通機関」を表示する。
 - (9) G15は、G13とG14をもとに、シート名「交通費表」を参照し、料金を表示する。
 - (10) D18は、「宿泊コード」を、D19は、「宿泊日数」を、D20は、「部屋数」を入力する。
 - (11) G18は、次の条件を満たした場合、OKを表示する。
 - ① D18の左端から4文字と右端から3文字を抽出し、シート名「宿泊費表」を参照し、該当欄が空欄でない。
 - ② D7～D9の合計が、D18の右端から3文字を抽出し、シート名「宿泊費表」を参照して求めた「定員」とD20を掛けて求めた値以下。
 - (12) G19は、D18の左端から4文字を抽出し、シート名「宿泊費表」を参照し、「ホテル名」を表示する。
 - (13) G20は、D18の右端から3文字を抽出し、シート名「宿泊費表」を参照し、「部屋タイプ」を表示する。
 - (14) G21は、G19とG20をもとに、シート名「宿泊費表」を参照して、料金を表示する。
 - (15) D24は、「チケットコード」を入力する。また、G24は、D24をもとに、シート名「遊園地料金表」を参照し、「チケット」を表示する。
 - (16) D27は、次のように求める。
 - ① G14が 飛行機 の場合、D7～D9の合計にG15を掛けて求める。
 - ② G14が 飛行機 以外の場合、D7～D8の合計にG15を掛けて求めた値と、D9にG15の半額を掛けて求めた値の合計を求める。
 - (17) D28は、D19とD20とG21を掛けて求める。
 - (18) D29は、G24をもとに、シート名「遊園地料金表」を参照し、料金にD7～D9をそれぞれ掛けて合計して求める。
 - (19) D30は、G7が なし の場合、0を表示し、それ以外の場合、G7の右端から2文字を抽出して求めた値を900で割り、D27とD28の合計を掛けて求める。ただし、500円単位で切り捨てて表示する。
 - (20) D31は、D27～D29の合計からD30を引いて求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしてあります。」

問1. シート名「計算書」のG6に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(D6="", "", IFERROR(IF(AND(WEEKDAY(D6, 1)<>2,), "OK", "NG"), "NG"))

(注) WEEKDAY関数の第2引数が1の場合、戻り値として、1(日曜日)～7(土曜日)を返す。

ア. G3>D6

イ. G3>=D6-10

ウ. G3<=D6-10

問2. シート名「計算書」のG15に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(G14="", "",
 (a) (交通費表!C5:E9, (b) (G13, 交通費表!B5:B9, 0), (b) (G14, 交通費表!C4:E4, 0)))

ア. (a) HLOOKUP

イ. (a) INDEX

ウ. (a) SEARCH

(b) FIND

(b) MATCH

(b) MATCH

問3. シート名「計算書」のG19に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。

=IF(OR(G18="", G18="NG"), "", (a) ((b) (D18, 4), 宿泊費表!A6:B9, 2, FALSE))

問4. シート名「計算書」のD30に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(D29="", "", IF(G7="なし", 0, (VALUE(RIGHT(G7, 2))/900*(D27+D28), 500)))

ア. FLOOR

イ. CEILING

ウ. ROUNDDOWN

問5. シート名「計算書」が次のように表示されているとき、D31に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							申込日 <input type="text" value="2016/9/25"/>
5		1. 基本情報		入力欄			確認欄
6		出発日		<input type="text" value="2016/12/28"/>			<input type="text" value="OK"/>
7		申込人数	大人	<input type="text" value="2"/>	名	割引	<input type="text" value="※"/>
8			学生	<input type="text" value="1"/>	名		
9			子ども	<input type="text" value="1"/>	名		
10							
11		2. 交通機関条件					
12		交通コード		<input type="text" value="SEN-T"/>			<input type="text" value="OK"/>
13						出発地	<input type="text" value="※"/>
14						交通機関	<input type="text" value="※"/>
15						大人一人あたりの料金	<input type="text" value="※"/>
16							
17		3. 宿泊先条件					
18		宿泊コード		<input type="text" value="H001-TWB"/>			<input type="text" value="OK"/>
19		宿泊日数		<input type="text" value="2"/>	泊	ホテル名	<input type="text" value="※"/>
20		部屋数		<input type="text" value="2"/>	室	部屋タイプ	<input type="text" value="※"/>
21						一泊一室あたりの料金	<input type="text" value="※"/>
22							
23		4. 遊園地条件					
24		チケットコード		<input type="text" value="TH"/>		チケット	<input type="text" value="※"/>
25							
26		5. 旅行代金					
27		交通費		<input type="text" value="※"/>			
28		宿泊費		<input type="text" value="※"/>			
29		遊園地料金		<input type="text" value="※"/>			
30		割引料金		<input type="text" value="※"/>			
31		合計		<input type="text" value="※"/>			

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(平成28年 9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度 (第55回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5
				分析手法 グラフ	
		日			

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
			(a)		
			(b)		

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(平成28年 9月25日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度 (第55回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	イ	カ	コ	ク	シ

【2】	1	2	3	4	5
	ケ	キ	ア	エ	オ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	イ	ウ	イ	0.931

93.1%も可。

各2点
15問

小計	30
----	----

【4】	問1	問2	問3	問4		問5
				分析手法	グラフ	
	ウ	6 日	イ	ウ	ア	イ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	ア	LIKE	ウ	イ	イ

各3点
10問

小計	30
----	----

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	ABS	ウ	ア	107	イ

【7】	問1	問2	問3		問4	問5
	ウ	イ	(a)	VLOOKUP	ア	289,600
			(b)	LEFT		

「,」なし可。

各4点
10問

小計	40
----	----

- ※ 記述問題の大文字, 小文字は問わない。
 ※ 複数解答問題は, 問ごとにすべてができて正答とする。

試験場校名	受験番号

得点合計
100